

① 貿易・商業英語文の書き方。

手段：通信

お試し：2回 1回につき1,500円

振込後、教材送付（PC）添削ご返却（PC）

設問 1.

(1) 当社の得意先から大口の引合いがありました。

受講生様の解答例: We had a large number of inquiry from our customer.

“引合いがありました。”と過去に結び付けないことが肝要です。ここでは”We have had”と“現在完了形”にすることで“続けてその対応をします”という過去から現在に継続しているニュアンスを表します。

We had a large number of inquiry from our customer.

“had”にしますと、引き合いがありましたという事実を表現します。後はどうなったのか不明です。ここでは”We have had”と“現在完了形”にすることで“続けてその対応をします”という過去から現在に継続しているニュアンスを表します。

We had a large number of inquiry from our customer.

inquiry を inquiries にする。(a large number=多くのといっているなので、複数形にする。)

customer を customers にする。商業である以上、一人だけの特定のお客様はこの文脈上あり得ません。

We had a large number of inquiry from our customer.

customer を customers にする。商業である以上、一人だけの特定のお客様はこの文脈上あり得ません。

(2) 貴社のファッションブルな時計に大変興味がありますので、カタログ 5 部を航空郵便でお送りいただきたいと存じます。

We are interested in your fashionable watch and would like to receive five copies of your catalog by airmail.

(3) 当社は過去 20 年間、あらゆる種類のオーストラリア製缶詰製品の輸出に従事しており、それらの製品は大変好評を博しております。

We have been engaged in the export of all kinds of Australian made canned products the past twenty years and have a well established reputation.

お試し用問題 設問 1 から設問 10 までの中から 5 つの設問を選んで英訳しましょう。

次の日本語を英文に訳してください。

設問 1.

当社は各種カメラの老舗の輸出入業者で、この種の製品の全国的、および世界的な販売網を持っております。

設問 2.

当社は当地で製造された、また色々の供給筋から輸入された医療器械の販売を専門としておりません。

設問 3.

今までのところ、当社は貴国に良い取引先を見つけることができませんでした。下記の化学製品(=薬品)の取引ができる信頼できる会社を探しております。

設問 4.

貴社は、シカゴのユニオン・ワールド株式会社の取締役である、デビット A ロジャーズ氏により当社に推薦されました。貴社と是非取引したくお手紙を差し上げます。

設問 5.

貴社のご努力下、日本でエンパイア機器においてお互いに満足で、利益のある取引ができることを期待しております。

設問 6.

貴ファクス第 3588 号に対する返事として、当社は本日第 1756 号のファクスを貴社宛に発信し、11 月 10 日サンフランシスコ出港予定の”アリゾナ号”積みのナフテン酸(Naphthenic Acid)20 ドラム分を確認いたしました。本注文に対する契約書をお待ちしていますが、信用状を開設次第、すぐに信用状番号を当方宛ファクスしていただければ幸いです。

設問 7.

貴注文書第 810 号を受領いたしました。正しい単価は貴注文書記載の 4,770 ドルではなく、検査料を含めた 4,800 ドルでなければなりません。勿論、この点が見過ごされたと思いますが、この 30 ドル分をどうか信用状を開設する際に信用状の合計金額の中に入れてください。

設問 8.

この販売代理店契約(以下、本契約という)は、日本の会社・スバルシステム社(以下、サプライヤーという)と米国テラウェア州の会社・サターンアメリカ社(以下、代理店という)との間で締結された。サプライヤーと代理店は下記の通り合意する。

設問 9.

拝啓

残念ながら、貴注文第 540 及び 541 号を船積みする 予定であった“旭丸”の出航が突然取消されたことをお知らせしなければなりません。5 月中旬頃までは貴仕向地にむけに利用できる船舶はありませんので、当社といたしましては、ご注文品は 5 月 20 日に東京港から出航する“プレジデント・ウィルソン号”で船積みせざるを得ません。こういう事情ですので、関係信用状の船積期限と有効期限をそれぞれ 5 月 20 日と 5 月 31 日まで延長していただくようお願いしたいと思います。上記の手配をすることで、貴社にご迷惑をおかけすることにならないよう、また、商品がご計画に間に合って貴地へ到着するように願っております。

敬具